第６学年　道徳学習指導案

指導者　○○○○

１　主題名　　　誠実とは？（正直、誠実）

２　資料名　　　「手品師」（出典：かがやけ　みらい）

３　本時の目標

・手品師がとるべき行動について話し合う中で、身近な人に対して誠実に行動する態度を養う。

４　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学　習　活　動 | ・教師の支援　　◎評価 |
| 導入展開終末 | **１　ねらいとする価値について知る。**約束をしたときに、急用が入ったらどうしますか。　・約束を守る。　・急用にいく。**２　資料「手品師」を聞き、話し合う。**手品師はどんなことで悩んでいるのだろう。○何が道徳的問題なのかを知る。・「夢を実現したい」という願いと、「少年との約束を守りたい」という誠実な思いの間で揺れているんだね。どんな解決方法があるか、班で話し合ってみよう。○どうすれば問題を解決することができるかを、班で話し合う。・友人の依頼を断り、少年に手品を見せに行く。・少年との約束を破って、大舞台で手品を披露する。・少年を大舞台に連れて行く。・少年に連絡して、明日は行けないが別の日に行くと約束し直す。　　みんなから出された意見の中で、もっともよいのはどの方法だろうか。○出された意見の中から最善の方法を話し合う。　・約束を破っては、少年がかわいそう。　・友人の誘いを断るのももったいないし、友人にも失礼だ。・少年も手品師も両方幸せになれる方法を考えたい。少年を大舞台に連れて行くか、会うのを別の日にすれば、少年も手品師も幸福になれるね。**３　今日習ったことと類似した日常の問題を考える。**日曜日に友達と公園で遊ぶ約束をしていたが、その後、同じ日曜日に親が遊園地に連れて行ってくれることになりました。あなたならどうしますか。**４　学習のまとめをする。**「誠実」ってどんなことだろう。・約束を守ってみんなが幸せになれること。**５　教師の説話を聞く。** | ・自分の経験を振り返って発表させ、道徳的価値へ意識を向かわせるようにする。・資料は最後まで読まず、手品師が悩んだところで止める。・あらすじを確認しながら、手品師が直面している道徳的な問題を理解させる。**・たくさんの解決策が出せるように、ブレインストーミングを活用して班ごとに話し合わせる。**・最善策を選ぶための道徳的判断基準を示すために、次のような質問をする。「そうすることによって、手品師はどうなるだろう」「少年はどうなるか」「もし自分が少年なら、手品師にそうされてもよいだろうか」「そうすることで、手品師や少年は幸せになれるだろうか」◎自他の幸福を考えた誠実な行動について考えることができたか。　　　　　（話合い）**・子どもの生活経験に引き寄せて、手品師の解決策を応用あるいは一般化し、道徳的価値の定着を図る。** |